



## 2022年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年1月28日

上場会社名 株式会社 清水銀行  
コード番号 8364 URL <https://www.shimizubank.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 岩山 靖宏  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総合統括部長 (氏名) 大木 康正  
四半期報告書提出予定日 2022年2月4日 特定取引勘定設置の有無 無  
TEL 054-353-5162

配当支払開始予定日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	20,850	2.2	4,271	30.0	3,148	38.8
2021年3月期第3四半期	20,405	6.5	3,284	20.9	2,267	26.0

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 1,706百万円 (70.3%) 2021年3月期第3四半期 5,754百万円 (203.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	271.75	270.71
2021年3月期第3四半期	195.73	195.20

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	1,831,676	88,064	4.7
2021年3月期	1,795,397	87,071	4.8

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 86,552百万円 2021年3月期 85,610百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計 - 期末新株予約権 - 期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		30.00		30.00	60.00
2022年3月期		30.00			
2022年3月期(予想)				30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,000	2.8	3,500	0.7	2,200	1.7	189.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

特定子会社の異動には該当していませんが、次の連結子会社が異動しております。

清水銀キャリアアップ株式会社は、2021年6月30日付で解散し、2021年9月30日付で清算結了したため、中間期より連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期3Q	11,641,318 株	2021年3月期	11,641,318 株
期末自己株式数	2022年3月期3Q	53,830 株	2021年3月期	54,201 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期3Q	11,587,412 株	2021年3月期3Q	11,586,574 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(会計方針の変更)	6
(追加情報)	6
3. 補足情報	7
(1) 2022年3月期 第3四半期損益の状況(単体)	7
(2) 預金等・貸出金の状況(単体)	8
(3) 金融再生法ベースのカテゴリーによる開示(単体)	8
(4) 時価のある有価証券の評価差額(単体)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の経常収益は、貸出金利息及び役務取引等収益の増加等により、前年同期比4億44百万円増加の208億50百万円となりました。経常費用は、経費及び与信関係費用の減少等により、前年同期比5億42百万円減少の165億78百万円となりました。

この結果、経常利益は、前年同期比9億86百万円増加の42億71百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比8億81百万円増加の31億48百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

預金は、地域に密着した営業基盤の拡充に努めた結果、1兆5,361億円となりました。(前年同期比615億円増加、前期末比453億円増加)

個人預かり資産は、お客さまの多様化するニーズにお応えするなか、個人預金、個人年金保険等が増加した結果、1兆3,063億円となりました。(前年同期比629億円増加、前期末比526億円増加)

貸出金は、地域金融機関としてお客さまの資金需要に積極的に応えした結果、1兆2,196億円となりました。(前年同期比139億円増加、前期末比153億円増加)

有価証券は、市場動向を注視しつつ、機動的な運用を行った結果、3,363億円となりました。(前年同期比39億円増加、前期末比262億円増加)

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年11月12日に公表した業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
<b>資産の部</b>		
現金預け金	216,190	213,169
商品有価証券	523	571
金銭の信託	1,000	1,004
有価証券	310,148	336,354
貸出金	1,204,283	1,219,636
外国為替	1,939	1,737
リース債権及びリース投資資産	13,628	14,175
その他資産	30,482	27,314
有形固定資産	17,420	17,278
無形固定資産	503	418
退職給付に係る資産	206	198
繰延税金資産	2,308	2,490
支払承諾見返	4,658	5,029
貸倒引当金	△7,897	△7,703
資産の部合計	1,795,397	1,831,676
<b>負債の部</b>		
預金	1,490,782	1,536,128
譲渡性預金	69,400	-
債券貸借取引受入担保金	22,914	57,181
借入金	111,455	137,474
外国為替	9	19
その他負債	8,172	7,307
賞与引当金	469	-
退職給付に係る負債	357	348
役員退職慰労引当金	47	34
繰延税金負債	60	88
支払承諾	4,658	5,029
負債の部合計	1,708,326	1,743,612
<b>純資産の部</b>		
資本金	10,816	10,816
資本剰余金	7,643	7,642
利益剰余金	64,060	66,490
自己株式	△248	△246
株主資本合計	82,272	84,702
その他有価証券評価差額金	2,991	1,478
繰延ヘッジ損益	71	100
退職給付に係る調整累計額	275	269
その他の包括利益累計額合計	3,337	1,849
新株予約権	72	93
非支配株主持分	1,388	1,418
純資産の部合計	87,071	88,064
負債及び純資産の部合計	1,795,397	1,831,676

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)
経常収益	20,405	20,850
資金運用収益	11,662	11,895
(うち貸出金利息)	9,349	9,372
(うち有価証券利息配当金)	2,220	2,332
役務取引等収益	7,568	7,900
その他業務収益	428	671
その他経常収益	746	382
経常費用	17,121	16,578
資金調達費用	439	344
(うち預金利息)	268	214
役務取引等費用	4,494	4,564
その他業務費用	54	202
営業経費	11,516	11,284
その他経常費用	615	183
経常利益	3,284	4,271
特別利益	-	40
固定資産処分益	-	40
特別損失	27	0
固定資産処分損	0	0
減損損失	26	-
税金等調整前四半期純利益	3,257	4,311
法人税、住民税及び事業税	667	877
法人税等調整額	297	231
法人税等合計	964	1,108
四半期純利益	2,292	3,202
非支配株主に帰属する四半期純利益	24	53
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,267	3,148

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)
四半期純利益	2,292	3,202
その他の包括利益	3,461	△1,496
その他有価証券評価差額金	3,421	△1,520
繰延ヘッジ損益	△3	29
退職給付に係る調整額	43	△5
四半期包括利益	5,754	1,706
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,729	1,660
非支配株主に係る四半期包括利益	25	45

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

これにより、役務取引等収益の一部について、従来は顧客からの対価受領時に一時点で収益を認識していましたが、財又はサービスが提供されたときに収益を認識する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

収益認識会計基準等の適用による四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の影響は今後一定期間継続すると想定しております。この期間においては、貸出先の経済活動に影響が生じるものの、政府等の経済対策や金融機関の支援により、貸出金等の信用リスクへの影響は多額とはならないとの仮定に基づき貸倒引当金を算出しております。また、税効果会計における課税所得については、当行グループの営業活動は一定の影響を受けるものの、資金需要の増加により貸出金残高は堅調に推移し、有価証券運用についても一定の影響を受けるとの仮定に基づき見積りを行っております。

なお、当第3四半期連結累計期間における新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り及び見積りに用いた仮定については、前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した内容から重要な変更はありません。

3. 補足情報

(1) 2022年3月期 第3四半期損益の状況(単体)

○増収増益

経常収益は、162億1百万円(前年同期比0.7%増)、経常利益は、38億95百万円(前年同期比14.1%増)、四半期純利益は、29億10百万円(前年同期比16.2%増)と、いずれも前年を上回る結果となりました。

○コア業務純益 前年同期比増加

コア業務純益は、貸出金利息、役務取引等収益等の増加及び経費の削減等により33億円(前年同期比16.3%増)となりました。

(単位:百万円)

	2022年3月期 第3四半期(A) (9カ月間)		2021年3月期 第3四半期(B) (9カ月間)	2022年3月期 通期業績予想
	前年同期比 (A)-(B)			
経常収益	16,201	125	16,075	21,000
業務粗利益	14,489	491	13,997	
コア業務粗利益(※1)	14,042	336	13,706	
資金利益	11,611	135	11,475	
役務取引等利益	2,407	268	2,138	
その他業務利益	470	87	383	
経費(除く臨時処理分)	10,742	△127	10,870	
人件費	5,842	△18	5,860	
物件費	4,237	△131	4,368	
税金	662	21	640	
実質業務純益(※2)	3,747	619	3,127	
コア業務純益(※3)	3,300	463	2,836	
コア業務純益(除く投資信託解約損益)	3,283	731	2,552	
一般貸倒引当金繰入額 ①	-	△84	84	
業務純益	3,747	704	3,042	
うち国債等債券損益	446	155	291	
臨時損益	148	△220	368	
うち不良債権処理額 ②	58	△106	164	
うち貸倒引当金戻入益 ③	49	49	-	
うち株式等関係損益	△14	△411	396	
経常利益	3,895	484	3,411	3,400
特別損益	40	67	△27	
税引前四半期純利益	3,935	551	3,383	
法人税等合計	1,024	143	880	
四半期純利益	2,910	407	2,503	2,300
与信関係費用(①+②-③)	8	△240	248	

(※1) コア業務粗利益 = 業務粗利益 - 国債等債券損益

(※2) 実質業務純益 = 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額

(※3) コア業務純益 = 業務純益 - 国債等債券損益 + 一般貸倒引当金繰入額

(2) 預金等・貸出金の状況 (単体)

預金残高は、前年同期比617億円増加 (4.1%増加) し、1兆5,396億円となりました。

	(単位：百万円)		(参考) (単位：百万円)
	2021年12月末	2020年12月末	2021年9月末
預金	1,539,655	1,477,916	1,516,827
譲渡性預金	—	38,775	—
預金・譲渡性預金 計	1,539,655	1,516,691	1,516,827

個人預かり資産は、前年同期比629億円増加 (5.0%増加) し、1兆3,063億円となりました。

	(単位：百万円)		(参考) (単位：百万円)
	2021年12月末	2020年12月末	2021年9月末
個人預かり資産	1,306,320	1,243,364	1,279,656
円貨預金	1,062,318	1,028,062	1,043,185
外貨預金	817	1,043	946
公共債保護預り	3,673	3,904	3,752
投資信託	64,162	52,981	59,978
個人年金保険等	175,349	157,372	171,794

貸出金残高は、前年同期比144億円増加 (1.1%増加) し、1兆2,268億円となりました。

	(単位：百万円)		(参考) (単位：百万円)
	2021年12月末	2020年12月末	2021年9月末
貸出金	1,226,899	1,212,447	1,214,494
うち 消費者ローン	361,497	362,561	361,501

(3) 金融再生法ベースの категорияによる開示 (単体)

金融再生法ベースの開示債権額は、前年同期比横ばいの171億円、総与信に占める比率は0.02ポイント低下の1.36%となりました。

	(単位：百万円)		(参考) (単位：百万円)
	2021年12月末	2020年12月末	2021年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	6,227	6,790	6,524
危険債権	9,194	7,922	8,913
要管理債権	1,761	2,442	1,509
合計	17,182	17,154	16,946
総与信に占める比率	1.36%	1.38%	1.36%

## (4) 時価のある有価証券の評価差額(単体)

	(単位:百万円)						(参考)	(単位:百万円)		
	2021年12月末			2020年12月末			2021年9月末			
	評価差額		うち損	評価差額		うち損	評価差額		うち損	
	うち益			うち益			うち益			
その他有価証券	1,508	5,427	3,919	5,134	8,619	3,485	3,898	6,769	2,870	
株式	1,199	3,001	1,802	1,074	3,082	2,007	2,871	3,940	1,068	
債券	642	1,005	363	790	1,110	319	811	1,051	239	
その他	△ 333	1,420	1,753	3,269	4,427	1,158	215	1,777	1,562	

(注) 満期保有目的の債券、子会社・関連会社株式で時価のあるものは該当がないため記載しておりません。